

平成23年度
第4回 温海地域審議会
会議録（概要）

期日：平成23年11月16日（水）

場所：鶴岡市温海庁舎6階大会議室

平成23年度 第4回温海地域審議会 会議録

○期 日 平成23年11月16日(水) 午後2時～午後4時

○場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

○出席委員 奥井厚委員、本間満委員、本間澄男委員、橋本忠志委員、五十嵐孝昭委員
三浦喜一郎委員、佐々木真人委員、佐藤美代子委員、榎本五郎治委員
五十嵐英夫委員、斎藤徹委員、五十嵐淳子委員、

(12名)

○欠席委員 佐藤重夫委員、柴田実委員、佐藤隆委員、佐藤容介委員、剣持孝一委員、
齋藤守峰委員、五十嵐安貴委員、鈴木義一委員

(8名)

○市側出席者

〈本 所〉 企画部長 秋野友樹

企画調整課長 高坂信司、主査 佐藤豊、企画専門員 伊藤弘治
地域活性化推進室 係長 三浦裕美、主任 飯野剛

〈温海庁舎〉 支所長 伊藤彦市

総務課長 本間節子、市民福祉課長 本間敏廣、市民福祉課主幹 富樫達男
産業課長 五十嵐勇一、観光商工主幹 粕谷一豊
建設環境課長 庄司又兵衛、教育主幹 石塚みさ
総務課総務地域振興主査 五十嵐浩一、総務課総務地域振興主査 鶴見美由紀
総務課専門員 本間克秀

○次 第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 協 議
 - (1) 鶴岡市総合計画実施計画について
 - (2) 鶴岡市国土利用計画について
 - (3) 提言書(案)について
 - (4) その他
4. 閉 会

3. 協議

○**奥井会長** 協議に入らせていただきます。(1)の鶴岡市総合計画実施計画についてご説明をお願いします。

「鶴岡市総合計画実施計画」 説明者・・・企画調整課 主査 佐藤豊

「鶴岡市国土利用計画」 説明者・・・企画調整課 企画専門員 伊藤弘治

○**奥井会長** 一括して(1)の総合計画実施計画、平成24年度から26年度の策定について簡単ですけれども説明いただきました。それから(2)の鶴岡市の国土利用計画についても今年度策定していくということで素案を説明していただきました。どうでしょうか、これは一括して協議した方が良いですか。関連もあるわけですけれども。それでは(1)(2)関連もあるわけですので一括して皆さんからご意見をいただくということで進めたいと思いますので、質問、意見ある方をお願いします。

○**橋本忠志委員** 22ページの介護保険施設の充実ですけれども、要介護高齢者の増加が著しく、申込者の多さから不足感が否めないということで、これはどの地域でもそうですが、温海地域でも相当の数の要望、自宅介護が大変、雇用の問題とあるいは家族間の問題がありまして、介護施設への入居申込みが大変多いということで、不足数が否めないということですが、この辺もう少し計画の要点を、例えばどのくらいの要望があるかというデータがあればお願いしたいと思います。

○**奥井会長** それではお願いします。

○**高坂課長** 細かいデータというのが手元にない状況でございますので、今すぐお示しということとはできない状況ですが、基本的にこのページと申しますか、この2の施策の大綱に基づく主な重点施策につきましては、総合計画の基本計画のフレーム、体系に基づきまして各6つの分野ごとに主な取組みとしてどういうものに取り組んでいくかと、その取組み状況と主な計画内容を示させていただいているものでございます。今お話のありました介護保険施設の充実というような施策の項目につきましては、現在こちらの今後の主な計画と書かれております第5期介護保険事業計画、これは平成25年度からの計画となるものでございますけれども、そちらの策定に向けたいろいろな調査・検討を行っているという状況になっておりますので、細かい数字についてはそういった中でお示しされてくるものとご理解いただければと思います。

○**奥井会長** その他ありませんか。本間委員をお願いします。

○**本間澄男委員** 6ページの新規事業ということで、農産物等の輸出拡大ということで、これは今国会でも盛んに問題になっておりますTPPのこともありますし、自分たちも農業をやって

いる関係上輸出については非常に興味もありますし、優秀な農産物を作れば海外に出せるということは分かりますけれども、例えばこの地域を見ると、いろいろな農産物を作るとしても、話が飛躍しますけれども猿とかの鳥獣被害があるということで、個々の農家、集落に入っていくとどういった農産物を作ればよいか非常に悩んでいるのが実態なのです。ただ自分も「つや姫」を作っていますけれども、優秀な米を作れば海外に打って出られると思いますけれども、これには我々も期待したいと思いますので、市当局からもいろいろアドバイスをお願いしたいと思います。

○高坂課長 大変貴重なご意見ありがとうございます。鳥獣被害対策につきましては 28 ページのところでは採り上げているということで、地域における重要な課題であると市の方でも考えているところがございます。これから輸出ということが、今回東日本大震災による海外の、特に中国等の状況としまして、日本の作物に対する輸出というのが今の状況としては厳しい状況もあるのかなと思っています。そういう中で市としてこれまでこういったことに関してはここに記載している協議会での取組み、ページとしましては 6 ページ、県の方で事務局を持っています促進協議会で情報収集をしながら進めてきたところがございますし、併せまして県の方ではハルピンに新たな事務所も開設をしています。一方で米の輸出ということでは酒田港でその準備が進められています。このようなもろもろの状況も踏まえまして、どういう風な形での施策展開が図られるのか、市としてどのようなことができるのか、こういったことについて真剣に検討して取り組んでまいりたいと考えているところがございます。

○三浦喜一郎委員 国土利用計画 10 ページにございます市の将来人口の関わりで、平成 33 年、人口 126,700 人と想定をされているようですが、市も町もいかにして人口を増やすかということで苦勞されて、いろいろな計画、施策を立てるわけですけれども、この人口、現在の人口から見て若干下回る数になるように受け止めたわけですけれども、いろいろな先程説明をされた施策が今後展開されてもなお人口が減らなければならないということになる。その算定根拠といえますか、推計に当たっての説明できるようなことがあれば教えていただければと思います。

○高坂課長 こちらの人口推計につきましては過去の人口の推移、近年の人口の推移というところを踏まえまして計算しているものがございます。計算の数値の取り方とかはいろいろあるわけですけれども、今回につきましてはここ近年 3 年間の人口の推移というところを見まして、それを 10 年先のところまで延ばしていくとどうなるかということと、併せまして鶴岡市の総合計画を策定するにあたりまして、様々な施策に取り組むことによって、政策的なインパクトによって人口増が図られる分と、そこの部分を若干足すような形で数値をおいているところがございます。22 年の国勢調査の結果が 10 月末に発表されまして、そこでは鶴岡市の人口が平成 17 年、5 年前に比べまして 5,761 名減という状況にもなっております。さらに地域別に見ますと、朝日、温海地域での人口の減の割合が大きいということもございまして、今後とも中山

間地域を中心とする振興、活性化と安心できる生活環境の整備、こういったことが重要な課題ではないかと市のほうでも認識しているところでございます。

○**奥井会長** 三浦委員よろしいでしょうか。それでは本間満委員よろしく申し上げます。

○**本間満委員** 29 ページですけれども、漁業後継者の新規就業者の独立支援ということでございますが、現在県も国も様々に施策を行っているようですが、県では支援策が 23 年度で終わるというような話も聞こえておりますが、鶴岡市では 10 年間で 60 人の就業者があるということで、大変良いことではあります。今後鶴岡市で 24 年度以降もこの支援活動を行うのか、それから現在行っている中で、若くて家族を持っている人たちがやろうとするのに対して鶴岡市の予算では生活の支援にならないと感じております。今やっている方々も 10 万円ちょっとでは生活に困る状態だということ、そういう支援の中でやるためには見習いの期間でも家族も安心して生活できるような支援をしていかないと、若い人だけの支援では独り身のときであれば何とかなるであろうと思いますけれども、家族を持っている場合は厳しい状態であろうと思いますので、今後現在より支援活動の内容がどのように変わっていくのかお聞きしたいと思えます。

○**奥井会長** お願いします。

○**高坂課長** 貴重な観点、大切な観点だと思います。ご質問という形でいただいたわけですが、所管しております農山漁村振興課の方にこのようなご意見がありましたということでお伝えさせていただきたいと思えます。併せまして、漁業も含めまして農林水産業の担い手の確保ということは大変重要なことだと市の方でも認識しております。そのために様々な支援策というところを国、県の制度もうまく導入しながら、進めているというところでございますので、引き続き支援が図られていくように市として取り組んでいくものと考えております。

○**奥井会長** その他ありましたら。三浦委員お願いします。

○**三浦喜一郎委員** 22 ページの高齢者の地域支援体制の整備に関わる要望的なものになるかと思えますが、老人クラブの方に関わっているものですから、その立場から若干申しあげたいと思えますが、先程介護支援体制のことが質問、説明がありまして、その部分については十分理解できました。昨日鶴岡市老人クラブ連合会のリーダー研修会の場で、長寿介護課長さんだったと思えますが、今度祝い金の削減を、今すぐではないのかどうか知りませんが、年次も言っていたようですが、喜寿の祝い金を今度無くしていきたいというようなお願いのお話をお聞きしたわけですが、確かに説明にもありましたけれども、今高齢者が元気になっていまして 77 歳は昔ほどめでたく祝う歳でもなくなっているのかもしれないし、ある程度見直しについては理解できる部分もあるわけですが、その祝い金の廃止とは別に、祝い金とかは減

っても、そのもらう人がたまたまもらえなくなるということで済むわけですけれども、例えば老人クラブ、温海の方ですと、前からいろいろ市の方から補助金だとか事業の負担金だとかやっていることが毎年減らされていくような状況があるようです。確かに体が弱くなってからの介護体制というものは放って置けないわけで、一番重要なことであることは分かるわけですけれども、その前に元気な高齢者をできるだけ要介護にならないようにいろいろな活動をしていくということについての支援体制がもっと強化されるというのか、おろそかにされないような姿勢を望みたいわけです。ここには具体的なことはございませんし、個別に申し上げるようなつもりはございません。一般論として言えば健康づくりのために行ってきた事業などが、補助金の減額というようなことで、今までやってきたようなこともできなくなっているという状況がございますので、これは老人クラブに限らずいろいろな団体がそのような状況に置かれているのかも知れませんが、弱くなってどうしようもなくなってからお金を出す前に、元気づくりの対策として高齢者に対する施策の強化を是非今後とも検討していただきたいものだという要望でございます。

○奥井会長　お願いします。

○高坂課長　大切な観点だと思います。こちらの方につきましては健康福祉分野の中でも、全体の中の項目を抽出しているという中で、介護予防という観点のものが今記載をされていないということになっておりますが、まずその介護という状態にならないように予防することは非常に大切なことだと考えておりますし、介護という観点だけでなく日常からの健康づくりの大切さということについては市の健康課が所管しながら進めております。介護予防の関係では長寿介護課の方で施策を進めています。そういった部署と連携を図りながら、まずは健康でいきいきと暮らせるというところを大切にして施策を進めていくことは大切だと考えておりますので、いただいた意見を踏まえながら実施計画をまとめていきたいと考えております。

○奥井会長　その他。橋本委員お願いします。

○橋本忠志委員　私は温海町森林組合の理事も兼務しておりますので、30ページの地域産木材の活用促進ということで、温海の地域は木材の資源が豊富なところで、それをいかに活用するかということで、雇用の問題、資金の問題とかいろいろな問題を抱えております。今温海町森林組合で短尺材の生産を活動中ということで、行政から、新潟県からも行政の方々からご指導いただきまして、民間の群馬県のトーセンという会社と業務提携しながら、皆さんご承知のとおり大変な事業を展開しているところです。スタートして1年ですけれども、これほど民間と行政と地域と一体となった地域産の活用ということはまれに見る企画ではないかと思っておりますのでございます。これを今後温海地域のみでなく庄内地域一円として木材資源の活用をこのような活用をすれば成功するのだという事例で頑張っているつもりでございますので、今後ともこの企画で行政と民間のノウハウを是非温海の森林組合の人材を活用していただければ、職員

も勉強しながら人材育成ということでご協力、ご指導いただければということで、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます、今後のご指導をお願いしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

○高坂課長 大変貴重なお話いただきまして、また感謝のお言葉をいただきありがとうございます。そういった取組みを進めていただいていることを我々としても機会あるごとに対外的にお知らせするとか、そういった形で是非ピーアールしてまいりたいと考えております。

○奥井会長 左側の委員ばかり意見が出ているようですので、右側の委員からも発言いただきたいと思います。佐々木委員何かありませんか。

○佐々木真人委員 34 ページの道路除雪ということですが、これにあたるかどうか、先般日沿道の「温海～まほろば間」のルート説明会がありまして、その場内のご意見で7号線の由良坂で年数回くらい大型車が横向きになったりとか、もろもろのことで3～4時間通勤に支障があったというご意見があつて、これが日沿道の「温海～鶴岡間」が開通すればどのような変化していくのか、別ルートができるわけですので大きな期待しているところです。これとちょっと離れるのですが、パートナーズ支援で小型除雪機が地域内に10台ということで、これにも大きな期待をしていて、うちの方にも配備されるものですから高齢者のお宅とか、一番は時々ですが、結構雪も降りますので通学路の除雪等でどのような活用ができるかなということで、ここにも市民との協働というように唱ってありますけれども、ただ、それを管理し、ぱつと降ったときに1台でどのようなことができるのか、また人の配置とか、無いときは雪も無いわけで、降るときは一緒に降るわけで、どれだけ回れるのかな、というところで常々の通学路だけでも何とか市で見られるようなところがないかなと、この要望は何回も出ているところですが、大雪のところであれば日常的に除雪も入っているようですが、半端なところが一番、かといって道路除雪がロータリーでないものですから、寄せてガードレールを超えるような形の除雪なものですから大変苦慮しているところで、協働はよいわけですが、その辺のところも考えていただければありがたいと思います。

○高坂課長 除雪全般に関してご意見をいただいたところでございますので、まず日沿道の関係での整備が進むことによって、交通体系とか通行量が変わるということもあると思いますけれども、それぞれの道路管理者が除雪をするということが基本になりますので、それぞれの責任の下に進められていくものと思います。それぞれの箇所でお困りのことがございましたら、所管の部署に声をお届けいただければと思います。それと今回こちらの34ページのところで新しいシステムみたいなこととして書いているところとしまして、新しい除雪の体制として市民協働の除雪体制の検討と書いてありますところが、今回小型除雪機を配備させていただいて、いろいろな工夫をしながら地域で有効に活用していただきたい、ということで取組みを進めていこうとしておりますので、是非皆さんからも有効な活用を進めていただけるように取り組ん

でいただければと思いますし、全体を所管するのが市民生活課の方になりますけれども、そちらでも全体として有効に取り組まれているようなことの情報共有とかしながら、より良い体制、仕組みづくりが進められるように進めてまいりたいと考えています。

○奥井会長 その他ありませんか。斎藤委員お願いします。

○斎藤徹委員 私からは 26 ページ、スポーツ関係、一番下の方、推進計画の策定しか載っていないものですから、私はスポーツクラブの理事長をやっているものですから、その辺で少しお伺いしたいと思います。私どもスポーツクラブができてから準備段階含めれば今年度で丸 6 年になるわけですが、その中で toto の補助が今年度 5 年目になりまして、来年度以降それがなくなるわけですし、私どもも来年度以降の計画といたしますか、予算、人的な部分も含めて今苦慮しながら来年度以降の部分を考えている最中でありまして。そういう中で実は toto の部分がなくなると、人件費等、そのスポーツクラブによって諸事情はずいぶん違うわけですが、人件費等も含めて年間 150 万円くらいいただいている部分が削減されるということは非常に厳しい運営状況になるわけですし、今後特段の鶴岡市からのご配慮とともに、事務局体制も今行政の方からもかなり応援していただいていたわけですが、来年度以降教育委員会等も一本化になり、行革の中で一本化するわけですし、その辺の方向性といいますか、指針を是非早めにお示ししていただきたいなということでもあります。もう一つは先程のご質問にもあった健康分野であります。私どものマネージャーは健康運動実践指導士という資格もありますし、近年高齢者に対しての指導もやっているわけですが、そこもボランティアでやれる部分と有償ボランティアでやれる部分が混在しているといいますか、スポーツクラブの運営の中でかなり厳しい部分が出てきておりますので、今後その辺も当スポーツクラブでも力を入れていきたいなと思っているわけですし、人材育成の部分も含めて市の方から応援していただければなと思っています。

○高坂課長 2 つの観点でご意見をいただいたところですので、それぞれ所管の方にそういったご意見をいただいているということでお伝えさせていただきたいと思います。なお、スポーツクラブについては先行して toto の支援の期間が既に経過しているところもあると思いますので、そういったところでの取組み状況がどうなっているのかというところが参考になるのではないかと思いますので、温海地域審議会の中でそういった意見がありましたということを担当のスポーツ課、又は健康づくりの取組みは健康課になるかと思いますが、そちらの方にお伝えしたいと思います。

○奥井会長 その他。榎本委員お願いします。

○榎本五郎治委員 5 ページの重点方針の①の方でございますが、文化会館整備ということで、文化都市である中心市街地地区に現代的機能を備えた新文化会館を改築整備するという項目があるわけですが、この金額についてはおおむね 50 億円ということで聞いているわけですが、

森林文化都市も提唱している鶴岡市でもありますので、羽黒山の御神木を何本か寄贈していただいて、文化会館にそういった空間を検討してはいかがかなと考えますが、いかがなものでしょうか。

○高坂課長 文化会館の整備につきましては現在検討委員会等を設けまして今計画を策定中でございます。担当の方にそういったご意見があったということをお伝えさせていただきたいと思っております。

○奥井会長 その他。五十嵐英夫委員何かありませんか。

○五十嵐英夫委員 大きいことではないのですが、どこの集落にも一人暮らしの高齢者、あるいは二人暮らしの高齢者世帯の集落があると思うのですが、それらの孤独死という問題がこの中には一つも出てこないのですが、それについても非常に悲しいことであるので、是非そこまで入って計画を進めてもらいたいと思いました。細かいことまだありますけれども、これだけで。

○高坂課長 大切な観点だと思いますので、具体的にどういった形でそのことに対してケアをしていくのかと、そういうことについて私も十分な理解をもっていないところもありますので、今いただいたことを意識におきながら、そのことに対する取組み状況に戻りましてから情報収集しまして、それに即した形での取組み、対策ができます方向に計画の内容を検討してまいりたいと思っております。

○奥井会長 大分時間も押しておりますけれども、女性の方々もおりますので、佐藤委員お願いします。

○佐藤美代子委員 それでは少子化対策の推進というところで、結婚に向けた活動への支援というところがございますけれども、具体的のどのような取組みが行われているのでしょうか。

○高坂課長 今日は担当部署の担当職員も参加しておりますので、詳しくはそちらの方からご説明させていただいた方が良いのかと思っておりますが、地域ごとの取組みということで、櫛引地域の方でかなり重点的に婚活の活動、婚活をテーマにして取組みを進めてきたという経過もある中で、これは非常に重要な課題であり、少子化という中で高齢化を抑制するというのは難しいことではございますけれども、少子化に関してはいろいろな手立てがあるのではないかと思いますし、その中では婚活というのも重要な課題であろうと、全市的な展開を進めていこうということで今年度から地域活性化推進室の方で事務局となりまして取組みを進めているということがございます。少し詳しい中身は担当の方から説明いたします。

○**奥井会長** それでは担当の方から説明をお願いいたします。

○**飯野主任** 今年度から本格的に婚活支援ということで本室の方で進めさせていただいておりますが、企画調整課長の方からもありましたように市の方で実際に婚活のイベントをしておりますし、具体的にいいますと8月に男女の交流パーティーを開催しておりますし、先月には森林文化都市と絡めまして羽黒山の石段を登ったりとか、朝日の六十里越街道を男女の方に一緒に登っていただくとかのイベントを開催しました。その他企業の中にも未婚者がたくさんいるという声が上がっておりましたので企業の協力をいただきながら婚活のイベントの情報を流すというような仕組みを今つくってございまして、鶴岡婚活支援ネットワークを立ち上げたところございまして、今いろんなイベント情報を得ているところございまして、来年度以降についてもこういったことを活用していろいろ進めてまいりたいと考えております。

○**奥井会長** もう一人、五十嵐淳子委員、ご意見、ご要望を若いところからお願いします。

○**五十嵐淳子委員** 先程三浦委員からもお話ありました点で、内容がかぶるかも知れませんが、国土利用計画の10ページの表の農用地のデータに関してなのですが、素人的な観点からですが、現状子どもは減る、人口は減る、担い手も減っているというところで農用地が増えているというのが本当に大丈夫なのかなというのが素朴な疑問でした。十分に調査しておられると思うのですが、本当に現実に即したデータなのか、どの程度達成できるものなのか、攻めの感じで鶴岡市はとても希望が持てるデータではあるのですが、そういった攻めの施策をした場合に、何かあった場合苦しむのは農家の方々なので、そういったサポートをきちんとしていって達成できるのかどうかというのが不安だったので、その点しっかりしていただきたいと思いましたので、お話させていただきました。

○**高坂課長** 農家の皆さんに対する配慮という点で非常に大切なところございまして、その辺肝に銘じて進めてまいりたいと思います。今ご指摘いただいた点についてはこの計画の中で重要な観点ございまして、国の計画、県の計画についてはこの計画に先行して既にできていますが、現在のトレンドを踏まえますと農用地は減少していく、というのが基本的な認識でございます。ところが一方で現在国の方の考え方として農用地を2%増やしていく、ということが示されているところございまして、そういった中でこの今回この計画を作るにあたって担当部署の方と協議、検討する中で、今示されている2%増というものをこの中に盛り込んでいこうという決意表明的な、といいますか意思表示をさせていただいているところございまして、少し補足的に申し上げますと、具体的にどういうところでの土地を農用地としていくのかということですが、大きいその他というところの増減率94%という形になっておりますけれども、この中に耕作放棄地が入っております。耕作放棄地を農地に変えていくという観点が一つございまして、併せまして森林の部分で、例えば鳥獣被害防止対策のためにその緩衝地帯を設ける、そういったことで森林の方を若干減らす形の中でそういう緩衝地帯を設けることが農用地を

増やすというようなカウントの仕方になるということがございまして、そういった内容を内訳としながら2%増と目標設定させていただいているものでございます。

○五十嵐淳子委員 分りやすくご説明いただきありがとうございます。

○奥井会長 最後に五十嵐委員何かありませんか。よろしいですか。大分時間も押しておりましたが、皆さんから活発なご意見をいただきましてありがとうございます。温海地域は平成23年度に日沿道の開通というふうなことで期待をしておりますけれども、まだ日程は示されておられません。何とか早めの開通をすることによりまして地域の活性化につながる部分を地域では期待しておりますし、また災害の多い地域だということで、雨が降れば災害が日に日に出ているという地域で、この前、自治会長会の中で庄内総合支庁の温海支所が庄内総合支庁に移るという話がありまして、自治会長会では緊急災害時の対応がスムーズにいかないのではないかと懸念がありまして、大分意見もありました。いい面もありますけれども逆に心配される部分があるということで、それらの移った場合の対応をもっとスムーズな、判りやすい方向で、行政と県、その辺の部分も詰めていかないとならないかなとこの前の会議で感じましたので、この辺の対応もお願いしたいと思います。災害の場合は人命に関わることもございますので大変なことではないかと感じましたので、対応をお願いできればありがたいと思います。大分時間も押して皆さんから活発な意見をいただきました。(1)の総合計画、(2)の国土利用計画についてはこれで終わりたいと思います。大変なご質問をいただいたわけですがこれからよろしくお願ひしたいと思います。ここで5分間の休憩を取りたいと思います。30分から(3)の審議会の提言書(案)を進めていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

— 休憩 —

○奥井会長 それでは再開します。(3)の提言書(案)について担当の方から説明をお願いします。

「提言書(案)」 説明者・・・総務課総務地域振興班 総務地域振興主査 五十嵐浩一

○奥井会長 ただいま提言書についてご説明をいただきました。皆さんからご質問、ご意見ありましたらお願いしたいと思ひます。五十嵐委員お願ひします。

○五十嵐英夫委員 第3回の分散会でお話した記憶があるのですが、事前に説明あつた中にも説明されておりましたが、歴史の資源を大事にしようと言つた記憶があるのですが、それがどこにも出てこないのが大変残念です。私は歴史というのは一つの資源だと思ひているのです。それが掘つても掘つても枯渇しない資源だと私は思ひているのでこれを大事にしながら、地域の歴史というものを何とか活かしていく方法がないのかというのを考えています。例えば鼠ヶ関

を考えると、出羽と越後の境にあたるものですから普通の平場とは一味違うような地域の歴史が綿々と累積されているということが言えると思うのです。それらを大事にしながら何とか、今でも源義経を訪ねてお客さんが見えるのですけれども、お出でになっても結局2本の石碑を見るだけ、記念碑を見るだけで終わっているわけですが、それでもそうやって来てくれるお客さんがあるということは、それだけの価値があるのではないかと思うので、是非とも歴史資源を大事にしていこうということをこの中のどこかに、その他の中で集約されているのでどこに入れるか難しいと思うのですが、これなども大事にしてもらいたいものだと思います。

○**奥井会長** 今ご意見をいただきました。その件でお願いします。

○**五十嵐主査** ただいま五十嵐委員からあったご意見につきましては、この間の分散会でもいろいろお話を聞いたところでありますので、テーマを増やすことはこれから難しいところだと思いますが、このテーマに沿った形で取り込めるような格好で再度検討させていただくことでよろしくをお願いします。

○**奥井会長** その他ありませんか。三浦委員お願いします。

○**三浦喜一郎委員** グラウンド・ゴルフ場のことで確認したいのですが、私もこの会議初めてなので、前の会議の段階で検討されているとすればその確認でよろしいのですが、グラウンド・ゴルフをやる場所の整備はもちろん大事ですけれども、併せて人が集まるということになると、みんな車で来ますので駐車場が問題となるのです。昨年も田川地区の大会を、温海を会場に初めて対外的な大会をやったのですが、何とか周辺の道路を全部使って間に合わせましたが、コートと併せて駐車場の整備が非常に重要だということでご認識をいただいて、あるいは十分ご承知のうえとは思いますがその辺を念のために申し上げた次第です。文言については変える必要はありませんし、来年度は計画検討の段階で、事業実施は25年度ということですから、これからも十分間に合う事柄ですけれども、駐車場について十分留意していただきたいということを要望いたします。

○**奥井会長** ご意見として聞いて、これからの計画に活かしてもらえればと思います。その他ありませんか。ないようですので、皆さんからいただきました内容については12月15日に市の方に私が持参して皆さんのご意見を、予算等もございますのでお願いすることにしていきます。回数も重ねてまとめましたのでこれを実のあるものにしていければと思いますのでよろしくをお願いします。

4. その他

○**奥井会長** その他ということでございますけれども、事務局の方から何かあればお願いします。

○伊藤支所長 昨年から9回にわたって、提言書の最後に経過が書いてありますけれども、大変ありがとうございました。温海地域では3つのテーマに沿って、特に日沿道に関しては23年度開通予定ということもありますし、今後は全線開通に向けた取組み、なおかつこの10数年間というのはストロー現象にならないための地域の活性化を図っていかなければならないと我々肝に銘じておりますので、皆さんとともに地域の活性化のために努めていきたいと考えておりますので、これからもよろしくお祈いします。今日の提言書については他の地域でも地域審議会を開催しておりますし、文言等の書きぶりについては同じような様式になるのかなと思ひますし、皆さんから出てきた意見等については手直ししませんが、書きぶりについては若干変わっていくものと思ひますのでその辺ご了承ください。何回か意見を交わした結果がこういう表現になったということですので、よろしくお祈いします。

もう一つ皆さんに報告しますが、今週の土曜日、県立鶴岡中央高校温海校が閉校式を行います。平成15年、県の第5次学校再編計画で温海校の問題が取りざたされて、また、平成18年から今年まで約5年にわたって県と協議してまいりました。鶴岡市としては平成22年の3月に県の管理の下で閉校後については3年から5年くらい地域に開放していただけないかという提案をしてまいりましたが、今年の9月に県の方から1年半後に回答がまいりまして、なおかつ県の担当者と協議した結果、県としては自分達の管理の下に貸し出しはできない。鶴岡市として何とか無償でも良いから譲渡を受けてもらえないかという話もあったわけですが、鶴岡市としては単純にあの体育館、今後使ったとしても20年使えるかどうか判りません。単純計算して60年の耐用年数だとすれば既に30年以上経過しておりますのでその解体費用が約4千万円、校舎については約1億円ちょっとかかる。これは県の担当者の試算ですが、そのような財産を引き継いだときに果たして市として、行政サイドで十分な利活用ができるのかという判断に立ちまして、市として今回は利活用が見出せないという関係で譲渡は受けないという結論に達しております。ただし、学校にはいろいろな経過もございまして、地域として特段問題もなく県の計画に同意したという評価を県としてどのように認めてくれるのか。さらには3月31日をもって閉校した建物について、4月1日から極端に言えば鎖を張って誰も出入りできないという状況でよいのかと、そういうことも申し添えまして、また、なおかつ、あつみ温泉の入口であるので、今後閉校後については環境整備について十分留意してくださいという意見を付しまして、鶴岡市としては譲渡を受けないということで回答しております。皆さんに報告します。これについて意見と言われましても困りますので、温海校については3月31日を以って完全に閉校となりますのでよろしくお祈いします。

○奥井会長 その他ありませんか。佐々木委員お祈いします。

○佐々木真人委員 合併以来スポーツ審議会という市の審議会ですが、5年ほど行ってその中でも申し上げておりますが、スポーツ審議会は3月末に毎行っておりまして、結果と予算とあと終わり、という鶴岡市の審議会の中の一つですけれども、その中で言ったのは、鶴岡市の駅伝大会は全国の中でも一番つまらない大会だということをお願いしたところ。最近警察と

の関係もあって再度スポーツ課長には申し上げたのですけれども、今回 57 回になりまして、小真木原の競技場に温海チームは 5 位で入ってきました。トータルは 12 位、大きな原因は三瀬で 5 分の繰上げ、それから競技場のゴールに入る前に 5 分の繰上げということで、26 チーム参加しまして、青タスキ、最初からタスキをもらって最後までつけているチームは 4 チームしかありません。その他の 22 チームは全部繰上げでグリーンのタスキに変わります。最初からタスキもつなげないセッティングの駅伝大会は鶴岡くらいしかないのかな、ということです。繰上げは仕方ないのです。交通事情から何から、15 分とか、箱根駅伝でも最終は 20 分ですか、5 分、5 分であるものですから、どこがどこで、順位がさっぱりわからないということで、たまたま警察協議会ということで今年参加しまして、その中で交通課長は警察から 5 分でしなさいということは絶対ないと、最近の東京マラソンでもわかるように銀座の大通りを上下とも何時間も止めて、それだけのブームですし毎週のように駅伝大会ありますが、東日本もありましたし、熱田から伊勢までの大学駅伝もありましたし、毎週のように放送があるように駅伝が今ブームなものですから警察の方も協力的なんですけれども、57 回の大会のうちに協議の中でそのような形になったということは、我々参加していませんので、あったのだらうと思いますが、そこを是非コースも含めて考えましょうということで、温海から声を上げたところですので、鶴岡市の大会がそういう大会なのだということを皆さんからもご承知いただき、何かのところで働きかけもしていただければと思います。温海の大会に参加していた NEC の第 2 学区の方ですけれども、今まで参加して一回もタスキをつないだことがないと、やはり駅伝はタスキをつないで、というところがあるものですけれども、市長が大会長で、市長に言ったほうが早いのですけれども、まずスポーツ課からということで話したところです。この件を 4 年前のスポーツ審議会です話したのですが全然取り上げてくれなかった。スポーツ課長も来年あたり考えてみましょうという返答をいただいているのですが、温海からそういう声を上げたいなと思って、そういう大会、温海も 50 何回も大会やっておりますので、そういう気持ちが皆さんもあろうかと思っています。何かの機会に是非声を上げていただければありがたいなと思います。時間をいただきありがとうございました。

○**奥井会長** ただいまのはご意見ということでよろしくお願ひしたいと思います。最後に今日の審議会に最初から出席していただいております企画部の秋野部長から感想とご意見をいただいて審議会を閉めたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

○**秋野部長** まずもって真摯にご協議いただきまして誠にありがとうございます。このような形で市長に提言をしていただきながら、私どももこの提言を踏まえて施策の方に繁栄させながら進めていきたいと思っております。特に 3 つのテーマを上げていただいておりますが、日沿道については間近に迫っている状況ですので、是非温海地域の振興に資するような形での仕組みを作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。今駅伝の話がありましたので、昔の話なのですが、聞いたところによると、やはり警察がなかなかうんと言わないという話を聞いておりました。しかし交通課長さんがそんなことはないということであ

れば、今後協議したいということで申し入れすればできるのかも知れませんので、その辺はスポーツ課の方に伝えてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

長期間にわたっての協議でありました。ありがとうございました。よろしくお願いします。

○奥井会長 どうもありがとうございました。それでは閉会をお願いします。

5. 閉 会 総務課長（16：00）